

# 制動システムの機能設計とB B W・自動ブレーキの適応技術

日時  
 2019年 9月27日(金)  
 10:30 ~ 16:30

## 受講料

1名 45,000円 + 税  
 2名以上1名 42,000円 + 税

## 案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
 JR中央線(緩行線)  
 地下鉄東西線(A5出口)  
 地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
 都営地下鉄大江戸線(A4出口)

## <お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講師 静岡理科大学 特任教授 博士(工学) 服部 敏雄 氏

## 講座のポイント

- ・ねじ締結体の強度
- ・ゆるみの基礎を演習も踏まえ習得
- ・疲労強度向上法~ゆるみのメカニズムと防止技術の習得
- ・CAEへの適用事例の紹介

## プログラム

### Study and Learning

- ・構造強度上の継手部の重要性
- ・ねじ締結部の力学
  1. 軸方向負荷(内力係数、荷重分担)
  2. 軸直角方向負荷(限界すべり量)
- ・ねじ締結体の設計の流れ
  1. 初期締め付けの力学(ばらつき)
    - a. トルクレンチ法
    - b. 回転角法
    - c. トルク勾配法
  2. 内力係数(偏心外力含む)
  3. 疲労強度評価
  4. ゆるみ評価
- ・ねじ締結体の疲労強度向上法
  1. ボルトの対策(伸びボルト、不完全ねじ部)
  2. ナットの対策
  3. 塑性域締付け法
- ・ゆるみのメカニズムとゆるみ防止技術
  1. 非回転(へたり)ゆるみ
  2. 回転ゆるみ
- ・ねじ締結体設計の常識とうそ
  1. 座金の善悪
  2. ダブルナットの効果
- ・CAD-CAE 一貫設計ツール
- ・演習問題
- ・まとめ

### Solution and Consulting / 質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675

<http://www.ebrain-j.jp/>

Email: [uketsuke@ebrain-j.jp](mailto:uketsuke@ebrain-j.jp)

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ねじ締結体の疲労強度向上法とゆるみ防止技術

セミナーコード

1101-190905

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/9/5 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				( )
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				